

アメニティ①



【外観】

耐震構造の新病院は病室の50%を個室にし、患者さまのプライバシーを考慮した新しい発想で造られました。



【正面玄関】

冬の北西風を避け、寒くないように玄関は東側にもってまいりました。
バスの駐車場も玄関前です。



【救急入り口】

救急室とエントランスは、管轄救急隊のご意見を戴いて設計してあります。救急室から点滴室、レントゲン検査室、生理検査室はすぐ近くにレイアウトされ移動しやすくなっております。



【自家発電装置】

ライフラインといわれる電気は自家発電装置で、水は地下水から汲み上げる設備を持っておりますので、大規模災害時にも病院機能が保てるようになっております。



【中央待合ホール】

自家発電の温水を利用して玄関ロビーとリハビリ部門は床暖房がはいるます。ホールの奥には全面ガラス張りの中庭があり、鈴鹿山系の木々が植樹してあり、癒しの環境提供とともに採光に役立っております。



【バリアフリー・フロアカーペット】

床はすべてバリアフリーで、つまづく場所がないようになっております。すべて洗浄可能なカーペットが敷き詰めてありますので静かで落ち着いた雰囲気を感じていただけます。



【エレベーター】

エレベーターは患者さま搬送用1基、業者物品搬送用1基を北側に設置し、ご家族さまやお見舞いの方々にご利用していただく一般用2基を南側に設置いたしました。これは、入院患者さまが、他の人に会わないようプライバシーを考慮する工夫です。更に給食用エレベーターは別個に設置し、食事と人がクロスしないようにしてあります。



【見やすいサイン】

“このはなざくら” をモチーフにした案内板は分かりやすくレイアウトされています。



【外来部門】 ◇各診療科、リハビリ、レントゲン検査、内視鏡検査、生理検査、血液検査、会計なども全て1階で済ませることができます。また外来診察室は独立させ、中待合を廃止しましたので診察話の内容を他の人に聞かれることがなくなりました。



◇カルテの中央化をあえて導入せず、診療科群のブロック受付としました。アクティブカルテは各科外来ですぐ出せるようにヒカルテを導入し、器械の故障による混乱を回避しています。



◇外来はブロックごと櫛型に配列させ、待合を分離して混雑を避けました。



【理学療法室】



【作業療法室】



【トイレ・洗面】

トイレの電源は自動点灯装置が付いており、便座ヒーター付きで立ち上がりやすいウォシュレット洋式トイレです。手洗いも自動で温水が出てくるようになっております。

【総合リハビリテーション室】

理学療法では、患者さまの基本動作の獲得のため、また作業療法では、日常動作の向上のためさまざまな訓練を行っております。また、冬は床暖房が入り、気持ちよく訓練していただけます。



【小児科外来】

小児科外来には子供専用のプレイコーナーがあり、さらに小児科診察室やトイレの壁面には楽しいペインティングが施され、お子さまが退屈しないよう考えてあります。



【オーダーリングシステム】

コンピューターによるオーダーリングシステムを導入し、患者さま情報の院内共有化・迅速化をはかっています。



【画像診断部】

放射線部門に加え超音波診断部門と内視鏡部門を一箇所に集め画像診断部としました。



【売店】

売店は広く面積をとり、必要なものがそろっているようになっています。



【総合受付】

受付業務を分散させ混雑をさげました。車いすのままでも受付していただけます。

アメニティ②



【スタッフステーション】

スタッフステーションは開放的で声がかげやすくしており、3方向に伸びる廊下が一望できるようになっております。



【病室廊下】

3階病棟はピンク色、4階病棟はグリーン色を基調に色分けしてあります。廊下は広く、担送入院患者さまはすべてベッドごと移動できるようになっております。担送時に患者さまの動線があまりクルクル回らないようにも工夫されております。



【個室】 病室の窓枠の腰高が低くなっております。これは入院患者さまのベッドを少し起こせば外の景色が見られるようになるからです。さらに、採光もよく明るいお部屋になっております。また、エアコンディショナーは4管式といって、患者さまのおられる部屋ごとに1日24時間、年間を通して、いつでも希望の温度に設定することができるようになっております。



【個室トイレ・洗面】

全ての個室にはそれぞれトイレ、シャワーもしくはバスが設置してあります。



【4人床部屋】 大部屋は、広々とした4人部屋になりました。すべてのベッドにはアーム式液晶テレビが設置しており、寝ながらでもテレビが見えます。また、4人床部屋にもトイレとシャワーあるいは洗面台が付いています。



【病室ネームカード廃止】

病室廊下側の患者さまのネームカードを廃止いたしました。病室番号だけしか分かりません。不便なこともありますが、患者さまのプライバシーを守るアイデアです。



【フローア】 ドライフロアはカーペットが敷いてありますが、特に診療部門は医療用の抗菌性のある硬めのカーペットになっております。これは車椅子やベッド搬送時に重くならないようにし、入院生活で足音や物音がうるさくないようにし、また、転倒時にケガをしないよう配慮されたものです。各フロアには洗濯室があり、洗濯機・乾燥機も完備しています。



【ダイニング】

明るくて広いダイニングは動ける患者さまが昼食をとっていただいたり、大勢の面会人と会って頂いたりして利用されています。



【中央手術室】 手術室は人工関節手術ができるクラス 100 のバイオクリーンルーム、脳神経外科、眼科手術用にクラス1,000 のクリーンルームのほか感染対策も考え合計5室設けました。手術室で使うディスポ製品の倉庫、大型の手術機器を格納する倉庫を設けましたので廊下は広々としており、事故の予防にも汚染防止にも役立っております。エリア内に摘出標本処理室も設けてありますので、すぐ標本整理、写真撮影などができます。



【クラス1,000 の手術室】



【中央材料室】 通過型オートクレーブ2機、EOG ガス滅菌機、プラズマ滅菌装置を設置し、洗浄室と滅菌物保管室を分離して感染予防に努めています。



【健康管理室】 健康管理室（健診室）は一般診察領域とは分けて独立させ、出入り口から一般患者さまと会わないようにレイアウトしております。



【手術待合・説明室】 手術が終了するのを待って頂ける手術待合室や手術終了後すぐに切除標本をご家族さまに見ていただきながら説明できる手術説明室を併設しました。



【人工透析室】 人工透析室は2階の最も陽当たりの良い位置に十分なスペースを確保しております。透析の専門病院の条件をみたくしています。



【いなべ医師会室・病診連携室】 いなべ医師会室、病診連携室が常設されておりますので随時、委員会が開催でき、専任スタッフが病診連携業務を遂行することができるようになりました。



【医師当直室・待機室】 医師当直室2室に加え、6室の待機室を設置しました。医師のみでなく職員誰でも宿泊可能で、雪の日、深夜の呼び出しにも仮眠できます。



【図書室・病歴管理室】 病院機能として必要な図書室・病歴管理室を設けました。



【多目的室・面談室】 各病棟には面談室と多目的室があります。入院説明、退院指導、病状や手術・検査の術前説明、各種相談などに活用できます。



【会議室】 院内で症例検討会・研修会および講演会などに大会議室の利用が自由になりました。会議室は普段は3つに分けて運用していますが、壁を開ければ約100人から150人が入れる会場になります。そして最新のオーディオビジュアル装置が設備しておりますので、DVD、テレビ、ビデオ、コンピューターと連動したスライド投影、レントゲンフィルムやカルテまで投影することができます。その他、各種研究会、市民公開講座などにも活用できます。

【More Points】

総合医局、管理職個室、職員食堂、全職員男女別ロッカー室、ボランティアルーム、講師控室、医師、看護師研修室、学生実習室、医療相談室など完備して患者さまやご家族の皆さまにも、そして職員や実習・研修者にも有用なアメニティーがいっぱいです。